

朝の館内放送

令和4年6月6日

おはようございます、市長の中村健です。

今週末、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により2度延期になっていた、ももいろクローバーZのLIVEが市内で開催されます。

元々は、一人の市民の声がきっかけとなってLIVEの誘致に動いたのですが、「できない理由」を探して断ってしまいそうなところを、担当職員の行動力と上司の理解によって実現したものです。

また、今回のLIVE開催にあたり、名鉄西尾駅構内にある「おいでつき」では、利用促進とLIVEのPRを兼ね、ももクロの大型ポスターを掲示しました。

メンバー個人の大型ポスターの展示は、全国的にも珍しいようで、これを知るモノノフの方から良い評価もいただいております、担当課のファインプレーだと思っています。

このように、一つ一つの創意工夫と行動力が、ワクワクする西尾市の実現に繋がっていきます。

さて、市では現在、まちづくりの羅針盤となる次期総合計画の策定に取り掛かっていますが、総合計画は、日々の業務の延長という視点で考えるものではありません。

時代的な背景を踏まえての現状認識、西尾市としての将来的な都市像とそれを実現していくための基本目標、それを受けての各種指標や施策の方向性などが、有機的に結びつきながら、一貫したものとなっていなければなりません。

また、各種の指標を考える際には、無難な数値設定をするのではなく、背伸びをすることが重要です。

現実に引っ張られすぎず、背伸びをして、あるべき姿に目標を近づけることで、知恵を絞る必要性が生じてきます。

そして、知恵を絞ることで、より市の発展や市民生活の向上に貢献できます。

冒頭で紹介したような、創意工夫と行動力、職場の理解によって、よりよい総合計画を策定していきましょう。

以上で、朝の館内放送を終わります。